

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2021年 2月 22日

事業所名 児童発達支援ぱうわう

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーテーションで個室を作成し、活動部屋とリラックスマールームをしきっています。	
	2 職員の配置数は適切である	○			保育士・元支援学校教員・障害児者のヘルパー歴10年以上の経験者が豊富です。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		児童がわかりやすい遊具の配置、掲示物を減らす、活動時には遊具を片づけるなど工夫しています	取れないの段差にスロープを付けておりますが、構造上の広さまでは改善ができておりません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃、消毒を行い、常時換気と空気清浄機をつけ、冬場は加湿器を設置しています。	今年度は新型コロナウイルスの影響もありマスク、消毒アルコールの備蓄もしております。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝夕の2回30分ほどのミーティングをしています。	送迎などで、ミーティングに参加できないスタッフは後日に引継ぎや、グループLINEでの共有をしております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			児童発達支援事業利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し、改善に努めております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページやブログにて公開をしております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			現在は利用者と社内の評価のみとなっておりますが、今後の検討課題としてまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年6回以上の研修や、外部講師を招いての研修をしております。	不登校の児童や、精神障害児もいますので、心理系の研修やセラピーを取り入れています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		見学や体験時、又は送迎の際にニーズを把握したり、行動観察を記録し、支援計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		見学や体験時、又は送迎の際にニーズを把握したり、行動観察を記録し、支援計画を作成しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者からの聞き取りや、保育園幼稚園と連携して考えております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		子供の成長が早い時はづ維持検討を繰り返しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		一人に集中させず、チーム委でプログラムを作成しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		一人に集中させず、チーム委でプログラムを作成しています。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別・集団で切り替えて活動をしております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		30分程のミーティングをして記録を振り返り検討しております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		30分程のミーティングをして記録を振り返り検討しております。	送迎で抜けている指導員へは、後日報告を行っています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		写真としての記録を定期的に残し、保護者や教育機関と共通しています。	個人情報の取り扱いには、保護者と確認をしております。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		概ね6か月に1度、支援計画の見直しを行っています。	成長の早い児童は6か月たたずに見直しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		開催される場合には児童発達支援管理責任者等の適任者が出席しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		行政の子育て室や児童相談所と連携しています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		各病院の医師と連携し、てんかんなどの障がい児童にも、処方許可証をいただきなどしております。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		各病院の医師と連携し、てんかんなどの障がい児童にも、処方許可証をいただきなどしております。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		写真としての記録を定期的に残し、保護者や教育機関と共通しています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		写真としての記録を定期的に残し、保護者や教育機関と共通しています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童相談所のペアトレや会議に参加し、外部講師を招いての研修会をしています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		新型コロナ前は、地域開放日として地域の子どもと交流がありました。	新型コロナが落ち着いたら、地域交流会を復活させます。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		×		現在は参加しておりませんが、地域の福祉お祭りなどに屋台を出店予定です。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や、電話にて共有化を行っています。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		一部児童については児童相談所とペアトレを行っています。		
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っており、児発管職員が説明するようにしています		
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児発管職員が説明するようにし、同意を得るようにしています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		基本は営業時間内でお願いしておりますが、緊急時は会社携帯へ連絡相談していただいています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		×		父母の会は開催しておりませんが、他の父母の会を紹介はできます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		基本は営業時間内でお願いしておりますが、緊急時は会社携帯へ連絡相談していただいています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページやブログにて公開しております。	写真掲載許諾書を2部書いていただき、保護者様と事業所で別々に保管しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報同意書と写真掲載許可書を頂きます。	写真掲載許諾書を2部書いていただき、保護者様と事業所で別々に保管しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		家庭での入浴支援カードの作成などのお手伝いもしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域開放日を概ね4か月に1回開催しています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		定期的な研修を行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的な研修を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		てんかんなどの障がい児童にも、医師の処方許可証をいただいております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		×	スタッフ間でアレルギー児童の共有をしております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修をしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在対象児童はおりません。身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを	に行うことを職員の共通認識としています。そして、行った場合は記録に残すことにしています。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明しています。対象児童がいる場合には組織的に決定し、支援計画に記載する体制があります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。